

2022年の8月の45P彗星関連の突発群の出現と光度変化と軌道とスペクトル等(関口孝志)

1. 今回の突発群は、Mikhail Maslovの予想通り、45Pの1980年ダストトレイルの出現を捉えることができたといえそうです。
2. TV観測の単点方法で顕著な突発を捉えることができた。
3. 明るい流星が多かったが天候が悪く同時流星が少なかった。
4. 軌道の分布で突発出現と南群の両方が捉えられた。
5. 特徴的な光度変化は、高層大気の特異点付近で起こっていた。
6. スペクトルも撮影でき、Normalタイプであることが分かった。
7. 母天体は、45Pであると思われる。
8. 突発群の南群がADC群であることが分かったが母天体は、絞れなかった。